

# 和光の緑と湧き水だより Verda 128号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2013年6月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>

## 総合児童センター主催「樹林公園・初夏の森探検と押し花づくり」

日時 2013年6月9日 10時~12時 (受付 9時40分~) NPO法人 和光・緑と湧き水の会 企画

樹林公園の初夏の森は、サクランボ、草いちご等木や草の実がたくさん見つかります。夏の虫たちはまだ小さく、草陰に潜んでいます。小学生や幼児親子と一緒に生き物に出会う森の探検に出かけました。緑の松ぼっくりを見たりヒロハアマナの保護地域を観察し、最初の森を通り抜けて、多目的広場のドングリの森まで歩きました。草刈り前のドングリの森は様々な草が見られます。森の保全を兼ねて観察し、ヒメジョオンやカタバミなど小さな草で、自分流のアレンジを楽しみ、草原や森を体験し学びました。

天候に恵まれて、さらに奥の第1ドングリの森まで歩き探検。10年前、ドングリから育てた公園内に作られた「ドングリの森」を観察し、紙芝居「ドングリの森のお話」も楽しみました。10cm程だった幼樹は10m以上にもなり、そのドングリが今、芽を出しています。大人も子供も、生きて成長している森を体感しました。参加者からの感想は、樹林公園では、森の外側の道路を散歩したり、遊具で遊ぶだけで、森の中や草原を歩くのは初めて、自然を満喫した観察会でした。親子や祖父母と一緒に森で生き物との出会いを楽しんでいました。参加者の森探検のスナップ集です。



花時計前のケヤキの広場集合



緑の森の道を奥へ奥へと探検



サクランボ食べてみたら甘いかな



若いドングリの森前の草原



ヒメジョオン等を使ってアレンジを楽しむ押し葉づくり



作品発表



10年前から育てた「ドングリの森」では幼樹が育って、充実した森探検でした。今年発芽したドングリ